

リハビリ通信

【個別リハビリテーションについて】

今回は集団のリハビリテーションについて書かせて頂きました。今回は個別リハビリテーション（以下…個別リハ）について書かせて頂きます。

皆さんはリハビリテーションと聞くと個別リハをイメージすると思います。個別リハは文字通り1対1で行うリハビリテーションを言います。最大のメリットはその人にあった運動を提案できることです。人それぞれ生まれ育った環境、家族構成、病気の内容、住宅の環境など、それぞれに個性があるため、その個性に合わせたリハビリテーションを提供できるからです。

例えば住宅環境において、車いすが使えず、歩かなければ在宅生活が送れない人に車いすのブレーキ操作、駆動方法を覚えてもらってもあまり意味が無い練習になってしまいます。そのため、個別リハで歩くために必要な筋力強化など行います。これもまた、個性があり、太ももの筋力が弱い人、ふくらはぎの筋力が弱い人など様々です。個々の特性に合わせてセラピストが評価を行い、運動や動作の練習を行ったり、フロアの職員と生活の中で生かせる運動を提案したり、必要な福祉用具を選定したりと、個別リハを通じてご本人だけではなく、関わる人達に色々な提案をすることが出来ます。このように、個別リハはご本人の強化だけではなく、周囲の環境にも良い影響を与えるられるため、個人を診る上で外せないリハビリテーションになっています。

より効果的な個別リハを提供するために、ご家族の中でも自

宅でどの場面で困っているのか（例えば、「トイレの介助が大変」ではなく、「便座に乗り移るのが大変」や「スポンの上げ下げが大変」）、など具体的に伝えて頂けると、より効果的な個別リハが提供できると思いますので、積極的に職員へお知らせ下さい。

お花見



3月下旬から4月上旬の良く晴れた日に片町文化センターへ、少人数のグループに分けてお花見に行きました。長期入所のご利用者にとってはコロナウィルス対策をしながらの久しぶりの外出となりました。満開の桜を目前にして思わず笑顔になる様子が多

く見受けられました。

クラブ活動



新型コロナウイルスの蔓延防止措置が解除されてから、中止されていた書道や籐細工のクラブ活動も徐々に再開になりました。活動自体が3ヶ月ぶりとあってか、皆さん意欲的に取り組まれている方が多く見受けられます。少しずつ日常を取り戻しつつありますが、大勢が集まって行う催し物はまだまだ難しいようです。日々、感染対策を行いながら楽しみみの時間を増やしていきたいです。

事務からのお願い

下記の認定証をお持ちの方は、ご提示お願いします。

◆介護保険負担割合証（薄桃色）

適用期間 令和4年8月1日～令和5年7月31日

対象サービス：入所・ショートステイ・通所リハビリテーション（予防も含む）

保険者が府中市の方は、府中市より7月下旬頃に発送予定となっております。

◆介護保険負担限度額認定証

適用期間 令和4年8月1日～令和5年7月31日

対象サービス：入所・ショートステイ（予防も含む）

市区町村に申請し認定を受けられた方

◆府中市介護サービス利用料軽減対象確認証 ㊦（薄紫色）

適用期間 令和4年8月1日～令和5年7月31日

対象サービス：ショートステイ・通所リハビリテーション（予防も含む）

保険者が府中市の方で、府中市に申請し認定を受けられた方

府中市より7月下旬頃に発送予定となっております。

◆後期高齢者医療被保険者証（75歳以上）

適用期間 令和4年8月1日～令和6年7月31日

対象サービス：入所・ショートステイ・通所リハビリテーション（予防も含む）

保険者が府中市の方は、府中市より7月下旬頃に発送予定となっております。

◆国民健康保険高齢受給者証（70歳～74歳）

適用期間 令和4年8月1日～令和5年7月31日

対象サービス：入所・ショートステイ・通所リハビリテーション（予防も含む）

保険者が府中市の方は、府中市より7月下旬頃に発送予定となっております。

<ご提示場所>

- ・入所・ショートステイ…1階受付事務所（インターフォンでお呼び下さい）
- ・通所リハビリテーション…通所職員、コピーを郵送でも可（原本は、郵送しないで下さい）

尚、ご提示の無い方、もしくは認定を受けていない方は、当施設の料金通りのご請求となります。

ご不明な点は事務課にお問い合わせ下さい。

医) 清新会 ピースプラザ

- 介護老人保健施設
- 居宅介護支援事業所
- 通所リハビリテーション
- 府中市地域包括支援センターかたまち
- 府中市地域包括支援センターみなみ町
- 訪問介護ステーション（休止中）

〒183-0021

府中市片町2-16-1

電話 042-336-5775（代表）

「行事企画委員会」

「編集後記」

コロナ感染症の方も減少してきていますが、まだまだ油断はできません。外出先から帰られましたら、手洗い・うがいを行なって感染予防に努めましょう。また、梅雨に入り湿度が高くなり、汗もかきやすく、脱水症状や熱中症の危険がありますので、こまめに水分補給で熱中症予防対策をしていきましょう。

編集後記